

前回愛知県環境教育等推進協議会 (7月4日)  
意見への対応について

番号	意見	対応案
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県内の企業は、自前の環境学習施設等を利用して、学校などで環境学習を実施しようと考えているが、学校側との調整が難しいので、うまく連携するシステムが必要。</li> <li>・学校、地域、家庭の連携した取組は ESD の一つの大事な考え方なので、行動計画でも取り組んでいただきたい。</li> <li>・学校での環境教育は重要であるが、地域や企業の協力が必要である。</li> <li>・環境学習の担い手、学校、企業もそれぞれの立場で悩んでいるので、これを考慮した連携の仕組みができると良い。</li> <li>・学校と企業を結び付けるコーディネーターやファシリテーターがいると良い。</li> <li>・環境とエネルギーは切り離せない。次世代を担う子どもが自分で考えて選択できるようになる人材育成プログラムが必要である。 企業が提供する環境教育プログラムを学校が使用できるカリキュラムに改正するシステムが必要である。</li> <li>・学校、企業、NPO をつなぐ手立てが不十分である。</li> </ul>	<p>行動計画 (案) P 2 2 ~ P 2 4</p> <p>「連携・協働の強化」において、各主体が連携・協働して環境学習等を推進する旨を記載</p>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人になってからの環境学習よりも、子どものうちからの環境学習の方が効果的である。</li> <li>・子どもが環境教育を受け、成長の過程で体系立てた環境学習を積み重ねることができる行動計画にしていきたい。</li> </ul>	<p>行動計画 (案) P 9</p> <p>「学校では、環境に関する基礎的な知識と保全活動に対する基本的な姿勢を身につけ、社会においてはより発展的な環境学習や環境保全活動の実践、そして、学校等における環境学習に連携・協働することで支</p>

		援する役割も期待されます。 各主体が各々の担うべき役割を果たすとともに、それぞれの得意分野を活かし、相互に連携・協働して補い合うことが必要」と記載
③	・改正法により環境教育等を推進していくため構築すべき組織、育成すべき人材、作成すべきプログラム内容などが明示されたので、方法論を決めていただきたい。	行動計画（案）P 9～P 21 「第3章 各主体等の役割と3つの柱からなる施策の展開」において、各主体の役割、期待される主な取組、これに対応する県の主な施策を記載
④	・原子力発電と放射線被爆に関する環境学習を進めていただきたい。	行動計画（案）P 15、P 20 安全・安心教育の推進で「放射能」について記載
⑤	・企業の社員や消費者の環境教育も重要で知っているから実行しているようにすべきである。	行動計画（案）P 10～13 事業者や消費者（県民）の役割、期待される主な取組、これに対応する県の主な施策を記載
⑥	・愛知県の環境教育・環境学習の強い部分と弱い部分を分けながら策定することが大切である。弱い部分を強くしていき、強い部分が愛知県らしさであると思う。 ・愛知県のポテンシャルを活かして実行するとこんな成果がある。だからこの行動計画がある、といったストーリー性のある計画が示せると良い。	行動計画（案）P 8、P 22～P 24 <愛知らしさの活用>「本県の強い部分としては、環境NPOが多く設立され、ボランティア活動も活発であり、環境学習の推進力となっている。また、本県では、2014年に国連のESDの10年の最終年会有るので、これを契機として行動計画を推進していきたい。」旨を記載 全国的に「連携・協働の取組」が不足しており、「連携・協働の強化」を推進する。
⑦	・「愛知県環境学習基本方針」の評価はどうであったのか。	行動計画（案）P 4～5 課題の把握で「愛知県環境学習基本方針」を策定する際の問題点と現状の課題を記載し評価している。
⑧	・人と人との関わりを重視した行動計画にしていきたい。特に親子は同じ方向に進める行動計画にしていきたい。	行動計画（案）P 10 県民の役割及び県民に期待される主な取組で家庭における環境学習の実施について記載
⑨	・各団体が実施している環境学習に関する取組をミックスすると子ども達の学びがより豊かになる。連携するスキームを行動計画に記載し、計画をモデルとして、連携のプロセスを評価すると良い。	行動計画（案）P 22～P 24 各主体が連携・協働して環境学習等を推進するよう「連携・協働の強化」を図り、各主体の取組を情報提供する。

⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習は社会全体の在り方の学びであり、社会形成を担う人材育成の場でもある。愛知県らしいテーマとして、ものづくりと自然共生を思いつく。</li> </ul>	<p>行動計画（案） P 8          &lt;愛知らしさの活用&gt;で記載</p>
⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境教育がはぐくむべき能力」について、未来を創る力や社会を公正にみる力、課題に対処する力をいかに育むかなど、また愛知県の課題や地球環境の課題を解決するために必要な力を具体的に記載すると良い。</li> </ul>	<p>行動計画（案） P 7～P 8          &lt;E S Dの視点の導入&gt;          持続社会の構成概念、E S Dで身につけるべき能力・態度を記載</p>
⑫	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びや教育は地域に密着しており、市町村レベルの展開を重視すべきで、県の行動計画には市町村や市町村教育委員会が動きやすい枠組みを掲載していただきたい。その上で、地域の特性に合わせた環境学習の展開をオール愛知で見せれば良い。</li> </ul>	<p>行動計画（案） P 9～P 2 4          「第3章 各主体等の役割と3つの柱からなる施策の展開」において、各主体の役割、期待される主な取組、これに対応する県の主な施策」で全体像を示し、各主体が環境学習等の取組を実施する際の指針として本計画を作成          また、連携・協働取組の強化でコーディネーターの設置など市町村や市町村教育委員会が活用しやすい施策を記載</p>
⑬	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な方が様々な取組を実施しているのでこれを「体系化」していただき、その上で役割明示をしていただきたい。環境学習を進める上で「継続性」が最も重要であるので、システムをつくっていただきたい。</li> </ul>	<p>社会と学校等のそれぞれの役割と期待される主な取組を明示し、各主体が連携することで全体として環境学習等を推進するよう計画を作成          現状の課題に対して「継続的・発展的な環境学習の推進」を図る計画を作成</p>
⑭	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階（幼児・児童・生徒・学生）に応じた期待される体験や学習と地域との連携について、学校等の具体的な方策を検討していただきたい。</li> </ul>	<p>行動計画（案） P 1 7～P 2 4          学校等における環境教育の推進として、学校等の役割、期待される主な取組、幼稚園から大学までの県の推進する主な施策を記載          地域との連携については、「連携・協働の強化」で施策を記載</p>